

2008年8月4日

HSBC ホールディングス plc
2008年1-6月期決算－ハイライト

- 総営業収益は2%増の429億1,200万米ドル（2007年上半期は420億9,200万米ドル）

上半期：

- 貸倒引当金繰入額控除前の純営業収益は9億8,200万ドル増え、3%増の394億7,500万米ドル（2007年上半期は384億9,300万米ドル）
- 貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金繰入額は37億1,200万米ドル（58%）増加して100億5,800万米ドル（2007年上半期は63億4,600万米ドル）
- グループ税引前純利益は39億1,200万米ドル（28%）減少して102億4,700万米ドル（2007年上半期は141億5,900万米ドル）
- 親会社株主帰属利益は31億7,300万米ドル（29%）減少して77億2,200万米ドル（2007年上半期は108億9,500万米ドル）
- 平均総株主持分利益率は12.1%（2007年上半期は19.1%）
- 1株当たり利益は32%減の0.65米ドル（2007年上半期は0.95米ドル）

配当金と自己資本比率：

- 2008年第2中間期の普通株式1株当たり配当金は0.18米ドルで、すでに支払い済みの2008年第1中間期の普通株式1株当たり配当金0.18米ドルと合わせると、2007年第1及び第2中間期の配当金の合計に比べ6%の増加
- Tier1 資本比率は8.8%、自己資本比率は11.9%

HSBC ホールディングスの 2008 年上半期税引前純利益は 102 億 4,700 万米ドル

HSBC の税引前純利益は 102 億 4,700 万米ドルと、2007 年上半期に比べ 39 億 1,200 万米ドル（28%）減少した。

純利息収益は 211 億 7,800 万米ドルと、2007 年上半期に比べ 29 億 4,800 万米ドル（16%）増加した。

貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金繰入額控除前の純営業収益は 394 億 7,500 万米ドルと、2007 年上半期に比べ 9 億 8,200 万米ドル（3%）増加した。

営業費用は 201 億 4,000 万米ドルと、2007 年上半期に比べ 15 億 2,900 万米ドル（8%）増加した。基調的に見ると、恒常為替レートベースで、営業費用は 4%の増加となる。

HSBC のコスト効率比率は 2007 年上半期の 48.3%に比べ 51.0%となった。

2008 年上半期の貸倒引当金およびその他の信用リスク引当金繰入額は 100 億 5,800 万米ドルと、2007 年上半期に比べ 37 億 1,200 万米ドル増加した。

2008 年 6 月 30 日現在のグループの Tier1 資本比率と自己資本比率はそれぞれ 8.8%、11.9%と高水準を維持した。

2008 年 6 月 30 日現在のグループ総資産は 2 兆 5,470 億米ドルと、2007 年 12 月 31 日に比べ 1,920 億米ドル（8%）増加した。

地域別の営業成績

	2008年上半期		2007年上半期		2007年下半期	
	百万米 ドル	%	百万米 ドル	%	百万米 ドル	%
税引前純利益／（損失）						
欧州	5,177	50.5	4,050	28.6	4,545	45.2
香港	3,073	30.0	3,330	23.5	4,009	39.9
その他のアジア太平洋地域	3,624	35.4	3,344	23.6	2,665	26.5
北米	(2,893)	(28.2)	2,435	17.2	(2,344)	(23.3)
ラテン・アメリカ	1,266	12.3	1,000	7.1	1,178	11.7
	10,247	100.0	14,159	100.0	10,053	100.0
税金費用	(1,941)		(2,645)		(1,112)	
当期利益	8,306		11,514		8,941	
親会社株主帰属利益	7,722		10,895		8,238	
少数株主持分帰属利益	584		619		703	

カスタマー・グループおよびグローバル事業部別の営業成績

	2008年上半期		2007年上半期		2007年下半期	
	百万米 ドル	%	百万米 ドル	%	百万米 ドル	%
税引前純利益／（損失）						
個人向け金融サービス事業	2,313	22.6	4,729	33.4	1,171	11.7
商業銀行事業	4,611	45.0	3,422	24.2	3,723	37.0
グローバル・バンキング& マーケット事業	2,690	26.2	4,158	29.4	1,963	19.5
プライベートバンキング 事業	822	8.0	780	5.5	731	7.3
その他	(189)	(1.8)	1,070	7.5	2,465	24.5
	10,247	100.0	14,159	100.0	10,053	100.0

スティーブン・グリーン・グループ会長のご報告

2008 年上半期の金融市場は、業界の大部分に及んだ収益率の大幅な低下に示されるように過去数十年で最も厳しい試練に晒され、結果として資本増強やリストラが進みました。HSBC も市場混乱の影響を受けずにはいられず、税引前純利益は 102 億米ドルと前年同期比 28% の減益となりました。当中間期の市況を考慮すれば、これは底堅い業績といえるでしょう。この業績により当グループは資本力を維持し、配当政策を貫くとともに、資本の保全と急成長する事業への投資のための資本の有効活用の間でバランスをとることが可能となっています。

取締役会は、第 2 中間期の 1 株当たり配当金として 6% 増の 0.18 米ドルを承認しています。配当金は 2008 年 10 月 8 日に支払われます。ご希望に応じて株式で配当を受けることもできます。

2008 年上半期は底堅い営業成績を達成

2008 年上半期において、当グループはすべてのカスタマー・グループについて黒字を維持しました。また、2007 年下半期に続き赤字となった北米を除くすべての地域でも黒字を維持しました。収益は前年同期に比べ 3% 増加、貸付金減損は 58% 増加しましたが、2007 年下半期との比較では 8% 減となりました。基調的な費用の伸びは前年同期からわずかに 4% に抑えられ、2007 年下半期からでは 2% 減少しました。

収益性はすべてのカスタマー・グループにおいて 2007 年下半期から改善し、グループ全体の利益は 2% 増加しました。特に、グローバル・バンキング & マーケッツ事業は極めて厳しい市況により 39 億米ドルに上る評価減を強いられながらも、2007 年下半期に比べ 37% の利益成長を記録しました。一方、米国の消費者金融事業は引き続き厳しい環境に置かれていましたが、業績は予想範囲内に収まり、貸付金減損も 66 億米ドルと 2007 年下半期から 17% 減少しました。営業成績に関する詳細は、グループ最高経営責任者 (CEO) によるレビューをご覧ください。

財務力を維持

HSBC の財務力維持への取り組みは揺らいでいません。資本と流動性の充実度に変わりはなく、Tier1 資本は今上半期に 62 億米ドル増加してその比率は 8.8% となりました。信用格付けを維持したことで、厳しい市況下で十分な利益を生み出すとともに、戦略的な優先対象への集中投資を続けることができました。

現在の環境で当グループが特に注意してきたのはリスク管理、厳格なコスト管理、顧客に対するサポート、そして長期的な戦略目標の達成を支える継続的な投資です。当グループの広範囲な基盤、底堅い収益構造は、長期的な好業績の達成を可能にする安定したプラットフォームを提供し続けます。

HSBC 組織形態の戦略的変更

今年 2 月に発表したフランスで HSBC が保有していた地方銀行ネットワークの仏バンク・ポピュレールへの売却は 7 月 2 日に完了し、下半期に 21 億米ドルの売却益を計上することになりました。売却の結果、フランスにおける HSBC の事業はパリをはじめとする大都市圏に集約されました。事業別では、主にグローバル・バンキング & マーケッツ、HSBC プレミア、プライベートバンキングの各事業、そして国際展開する企業向けの商業銀行事業に集中しています。

当グループは今年 3 月、台湾で中華商業銀行の資産と負債、事業を引き継ぎ、アジア第 4

のバンキング市場で既存の事業に 36 の支店と 100 万を超える顧客を加えました。5 月にはインドの大手証券会社 IL アンド FS インベスツマートの株式の 73.21%を取得することで同社と合意に達したと発表。買収総額は約 2 億 6,000 万米ドルに上り、アジア第 3 の経済大国でバンキング事業と保険事業に加え証券事業でも地位を築くことができました。

激動の経済環境

今上半期の経済・金融環境は徐々に悪化していきました。当社が営業基盤を持つ主要先進国において、経済成長は居住用不動産をはじめとする資産価格の下落に伴って鈍化しました。これは消費者マインドおよび消費支出にも影響を及ぼしました。信用市場では流動性不安が大きな問題となり、証券化市場では取引が減少し、正常な取引水準に戻る兆しはみられませんでした。結果的にバンキング・システムはレバレッジの引き下げを進め、資産価格への更なる重石となり、クレジット・デフォルト・リスクを引き上げました。

HSBC が国際的な銀行として最も有利な地位を築いている新興市場は、根強い成長力を維持しています。今上半期も不動産価格の上昇とインフラ開発による経済成長の底上げが続き、消費マインドと消費支出を支えました。しかし、これらの経済の多くは、商品、エネルギー、食糧の消費の拡大に伴うインフレ圧力の増大に直面しています。

世界経済の減速

短期の経済見通しは、相当な不透明性を伴い、非常に厳しいものとなっています。世界的に消費マインドが弱まり、米国では景気刺激策が短期的には成功しているものの、長引く住宅市場の低迷が影響して経済は力強さを欠いたままです。住宅市場の好調により恩恵を受けていた英国とその他の欧州諸国の経済も、同じく軟化しました。与信が得られにくくなっていることで、このプロセスは加速しています。

新興市場は今後も十分な成長を維持すると予想しますが、少し前に比べると勢いは小さくなりました。アジアでは、力強さのあった昨年と比べると企業活動が明らかに鈍化したセクターもあります。株式市場の低迷に伴い、株式関連の資産運用商品に対する需要は低下しました。

長期的成長を見据えたポジショニング

金融業界において高水準で増大するレバレッジに基づいた成長モデルをもはや描けなくなったのは明白です。また、最近の結果を招いたのは金融サービスの複雑さやリスク管理の失敗ですが、これを是正すべきことも明らかです。貸し手、引受会社、投資家を含む金融業界は、その監督者とともにリスク管理、資本の妥当性、そして資金調達についての教訓を今後に生かす必要があります。実体経済がいずれこの危機から脱するとしても、回復に向かう前にさらに悪化することも考えられます。金融市場が以前の状態に戻ることはなく、また戻るべきではありません。

先行きの不透明感が強い状況のなか、当グループは HSBC について長期的成長を見据えたポジショニングをとっていきます。当グループの戦略方針を形成する変化の主要因、すなわち成熟経済に比べて急速な新興経済の成長、GDP に比べて急速な貿易と投資の成長、そして人口構成の高齢化といった世界の長期的な主要傾向は、依然として損なわれていません。これらの傾向のすべてに、金融サービスにとって重要な示唆が含まれています。当グループは、これらの傾向が顧客を取り巻く社会や事業環境、そしてそのニーズを形作っていく中で、HSBC から顧客にサービスを提供するためのプラットフォームの構築を今後進めていきます。また、成長の速い市場や国際社会とのつながりを持つ先進市場の顧客へのサービス提供に力を入れていきます。当グループの資本力と財務力、そして厳格なコ

スト管理への取り組みは、今後も業績を支えていくでしょう。

短期的には不透明性や困難が待ち構えているものの、HSBCにとって戦略の実施を加速するチャンスが生まれる可能性もあります。ストレスの多い環境にあって、HSBCには確かなブランド力、資本力と資金調達力、そして世界中のグローバルに活躍されるお客様にサービスを提供できるという強みがあります。当グループは、他社が苦しい状況にあらう時でも資本を活用する余力を今後も備えていきます。強固な資金調達基盤により、新規顧客を惹きつける一方、既存顧客に今まで以上のサービスを提供する機会が生まれています。当グループは長期的視点に立って事業やお客様との関係を考えていますが、それが株主に持続可能な長期的成果をもたらすための基礎になると信じています。この方針から離れることはありません。当グループは世界各地の33万5,000人の社員とともに、今後も1億を超える世界のお客様にサービスを提供し続け、その金融ニーズに応えるべく活動していきます。

グループ会長、S K グリーン

2008年8月4日

グループ最高経営責任者、マイケル・ゲーガンによるレビュー

困難な環境で底堅い業績

HSBCは「The world's local bank (地域に根付いたグローバルな金融グループ)」です。また、新興市場において世界で最も優位に立つ国際的な銀行でもあります。この事実に基づき、急速に成長する市場に集中することで価値を創出する機会が生まれています。当グループの税引前純利益に占めるこれら地域の構成比は、いずれ 60%に達する見通しです。先進市場では、新興市場との結び付きが極めて重要となるグローバルに活躍されるお客様に対応する事業と、当グループの世界的な規模が双方に効率性をもたらす現地のお客様に対応する事業の両方に集中しています。さらに、当グループはその規模、専門知識、そしてブランド力によって競争力を持つ、世界に広がる商品群を備えています。

当グループのグローバルにバランス良く分散した事業展開と幅広い顧客基盤によって、今上半期の税引前純利益は前年同期比で 28%減少したものの、厳しい市況下で 102 億米ドルを確保しました。

当グループでは、主要な業績指標に対する達成状況を測定しています。コスト効率比率は、コスト管理と事業投資の間でバランスをとることに成功して 51%と、目標とする 48-52%の範囲に入りました。

総株主リターンにつきましても、今上半期の目標をクリアできました。国際的な銀行 27 社中で上位 5 社に入っています。

HSBC の財務力保全に向けた基礎的な取り組みは、資本比率に反映されています。Tier1 資本比率は 8.8%と高水準を維持し、目標の 7.5-9%をクリアしました。

総株主資本利益率は 12.1%と、2008 年通期の目標である 15-19%の範囲に達しませんでした。が、厳しい状況下であることから未達は予想されていました。

拡大する商業銀行事業

商業銀行事業は当グループの中核事業であり、業績は今上半期も好調で税引前純利益は 35%増の 46 億米ドルに達しました。これにはグローバル・ペイメント社との合弁会社へのカード取得事業の譲渡に伴う売却益 4 億 2,500 万米ドルも含まれており、この分を除くと伸び率は 22%となります。

当グループの戦略に沿い、同事業の成長（カード取得事業売却益を除く）に対する新興経済の寄与度は約 70%に達しました。新興経済国は、商業銀行事業の全世界税引前純利益の 54%を占めています。力強い成長がみられたのはアジア太平洋地域、ブラジル、中東で、これらの市場における当グループの確立された地位が如実に表れました。特に中国本土では、商業銀行として当グループの存在感が非常に高まっています。加えてブラジルでは、取引量、貸出量、外国為替取扱量が増えた一方で貸付金減損は減り、税引前純利益は力強い伸びを記録しました。

英国では、税引前純利益が 23%増加（カード取得事業の売却益を除く）。商業銀行事業は堅調な預金取扱高の伸びとカード発行業務および外国為替業務の手数料収入の増加に支えられ、引き続き拡大しました。貸出額が 13%増加したにもかかわらず、英国での貸付金減損に大きな変動はありません。北米では、経済の鈍化と市場金利が収益性に影響を及ぼしました。貸付金減損は米国とカナダで増加。また、米国とバミューダにおける負債利子を除

いた純利子収入は、米ドルの利子率低下による悪影響を受けました。

商業銀行事業は、特にトルコ、台湾、インド、中国本土での成長に支えられ、小規模企業の顧客基盤を8%拡大して290万社としました。当グループは小規模企業セクターを、利益成長の機会を提供する預金と手数料収入の潤沢な獲得源とみなし、取り組みに力を入れています。

当グループのビジネス・ダイレクトのサービスを、ネットバンキングやテレフォンバンキングを通じて利用する法人顧客は、ますます増加しています。英国で2年前、ブラジルで1年前にサービスが始まって以来、契約企業数は15万社を超えました。2008年下半期には、インドと北アイルランドでもサービスを開始する予定です。

中堅企業向けセクターにおける当グループの特に大きな強みは、お客様がビジネスをされている場所に実際に身を置き、国際取引の両国からクロスボーダー取引に関わることで、それによる収入を伸ばすことができることです。当グループの商業銀行事業の収益は、世界貿易成長率の4倍を超えるスピードで成長しています。

グローバル・リンクの紹介システムの展開を加速し、クロスボーダー紹介件数は126%増の2,711件に達しました。これらの取引総額は83%増加し、56億米ドルとなっています。当グループは機能の一体化を継続し、グローバル・マーケットツ外国為替業務の収益は44%増、商業銀行事業からプライベートバンキング事業への紹介による新規資金の純流入は80%増となりました。

個人向け金融サービス事業：米国で苦境継続もその他は堅調

個人向け金融サービス事業の税引前純利益は51%減少し、23億米ドルとなりました。減益の主因は米国の消費者金融事業での貸付金減損の増加です。その他の地域での業績は堅調に推移し、米国の消費者金融事業を除くと税引前純利益は23%増加しました。

新興市場では、今上半期にわたり非常に堅調でした。その他のアジア太平洋地域では収益の伸びを維持。また、中国圏を中心に、63支店の新規開設などで支店網を拡充しました。中東では財務力の向上に伴い収益力が拡大。ラテン・アメリカでもメキシコでのクレジットカードシェアの増大とブラジルでの預金取扱高の力強い伸びに支えられ、事業は成長しました。

英国住宅ローン市場では、「RateMatcher」キャンペーンを成功させて市場での地位を強化しました。今年3月の新規住宅ローン貸付におけるマーケットシェアが3%だったのに対し、5月のピークには12%まで上がりました。また、フランスではインベスター・サービス部門を通し、グローバルに活躍されるお客様基盤を拡大しました。

「Joining up the Company」戦略の一環として、当グループは、HSBCのサービスが最も向いていると考えられる、グローバルに活躍されるマスの富裕層個人のお客様を呼び込むことに力を入れています。HSBCプレミアは、これらのお客様を想定して創出されました。今上半期は20万8,000人の新規顧客を呼び込むことに成功し、顧客総数は240万人に達しました。HSBCプレミア顧客数を今年末までに260万人にするという目標に向け、順調に進んでいます。

当初、HSBCプレミア顧客のうちHSBCにとって新規のお客様は半分と見積もっていましたが、今上半期においてその割合は80%を超えました。各顧客が生み出す年換算ベースの平均収益は2,000米ドルを超えています。この数字も、「Joining Up the Company」戦略が新し

い収益の流れを創出していることを裏付けています。

当グループのオンライン銀行サービスである「HSBC ダイレクト」も、予想を超える伸びを見せています。業界内でコア預金取扱高を増やしたいという要望が高まり、米国をはじめとして競争は激しくなっています。その状況下でも顧客基盤を 15% 拡大して 120 万人としたこと、そして取扱預金高を 19% 伸ばして 161 億米ドルとしたことは、当グループのブランド力の強さを物語っています。このサービスを受けるお客様に対する他商品のクロスセー ルスが本格化するにつれ、「HSBC ダイレクト」の本質的価値はさらに高まっていくでし ょう。

当グループのグローバル・カード・プラットフォームである「One HSBC カード」は、引き 続き成長しました。新興市場における成長率は 5% に達しました。

個人向け金融サービス事業—米国の最新動向

米国の個人向け金融サービス事業では、22 億米ドルの赤字が発生しました。貸付金減損そ の他の信用リスク引当金は 2007 年上半期に比べて 85% 増加し、68 億米ドルに達しました。 ただし、2007 年下期との比較では 15% 減少しています。失業者数が増加し住宅価格が下落 している米国の市況は依然として厳しく、北米個人向け金融サービス事業はグループレベ ルで 5 億 2,700 万米ドルの営業権減損を計上しました。

状況を緩和すべく、断固とした措置を継続しています。営業権減損を除いた今上半期の費 用は、前年同期から 12% 減少しました。消費者金融店舗網の縮小を進め、店舗数を 1,000 か ら 900 に減らしました。

当グループは本日、自動車ローン事業の打ち切りを発表しました。当グループの自動車ロ ーン・ポートフォリオにおいて信用の質は徐々に改善されていましたが、同事業はグルー プ全体に許容レベルのリターンを提供するのに必要な顧客数や価格決定力を確保できず、 新規ローンの組成を行わないことに決めました。130 億米ドルのポートフォリオのうち約 80% が 3 年以内に返済により消滅する見通しで、残りはその後徐々に削減されることになり ます。

米国の消費者金融事業は今後、カードや消費者ローンを中心に展開されることとなります。

住宅ローンサービスについては、当グループは今上半期中にポートフォリオを 360 億米ド ルから 310 億米ドルに 13% 削減しました。削減分の約 60% は返済によるものです。

グローバル・バンキング&マーケッツ事業では新興市場が好調

グローバル・バンキング&マーケッツの税引前純利益は前年同期比 35% 減の 27 億米ドルで したが、2007 年下半期からは 37% 増加しました。新興市場では 51% の増益でした。

信用取引、モノラインへのエクスポージャー、レバレッジド・ファイナンスについて、39 億米ドルの評価損を計上しました。これは資産担保商品セクター、仕組み商品セクターの すべてにわたる市場流動性不足の影響を反映したものです。流動性を欠く市場への HSBC のエクスポージャー、およびそれに伴う市場価値に基づく評価の不透明性は、当グループ の資産のうち、認識できない重要な価格に基づく評価が必要な資産は 3% に過ぎないため、 依然として比較的微小です。米国のサブプライム住宅ローンを担保とする債務担保証券へ の重大なエクスポージャーはありません。

今上半期において、当グループは新たな債券発行体を設立し、ストラクチャード・インベ

ストメント・ビークル（SIV）のための安定した資金調達源を確保しました。SIV および新発行体が保有し、HSBC のバランスシートに連結される資産は、主に資産の売却と圧縮により、2007 年末から 110 億米ドル減少し 290 億米ドルとなりました。

外国為替事業は過去最高の収益を上げました。収益の拡大は市場ボラティリティーの増大と顧客数の増加を反映したものです。金利関連商品を扱う部門では顧客取引の活発化と取引数の増加で利益を増やし、好業績を残しました。

グローバル・トランザクション・バンキングは商業銀行事業とグローバル・バンキング&マーケッツ事業にまたがっています。当上半期の収益は 46 億米ドルと、7 億米ドル増加しました。キャッシュ・マネジメント事業の収益は 2007 年上半期から 10%増加しました。負債の伸びは、利下げ後のスプレッド縮小の効果を相殺しています。取引・サプライチェーン事業は米国と英国の小売業の低迷にもかかわらず好調を維持し 27%の増加となりました。

グローバル・バンキング&マーケッツ事業に関する新興市場主導、ファイナンス中心の戦略は今後も続きます。このクロスボーダー戦略の有効性や HSBC の企業のおよび組織的な事業基盤の強さは、顧客のために実施した取引数が実証しています。今上半期において、HSBC は約 60 ヶ国で 29 セクターの 700 社を超える顧客にサービスを提供しました。これらの取引の総額は 1 兆米ドルを超えます。

当グループの実績は『ユーロマネー』誌にも認められ、「最優秀新興市場銀行」に選ばれました。中南米企業としてヴァーレによる過去最大規模の総額 122 億ドルのグローバル・オフアールィングをはじめ、数多くの大型クロスボーダー取引を成立させました。フォードが、ジャガー・ランドローバー事業を 23 億米ドルでタタ・モーターズに売却した際にアドバイザーを務めました。また、サウジ・アラムコの関連会社による初の新規株式公開（IPO）となった、ペトロラービグの 12 億米ドルの IPO で単独主幹事を務めました。

新興市場でのプライベートバンキング事業の拡大

プライベートバンキング事業の税引前純利益は、主としてスイスおよびモナコでの好業績により 5%増の 8 億 2,200 万米ドルとなりました。厳しい状況下でありながら、今上半期は総顧客預り資産を 1%増やし、4,990 億米ドルとしました。構成比では、新興市場は 59%を占めています。最近是中国本土で 3 つのプライベートバンキングのオフィスを開設しました。

他の顧客グループからプライベートバンキング事業への紹介件数は全体で 28%増加しました。紹介による新規資金の純流入は 70%増加し、34 億米ドルに達しました。

保険商品の提案を推進

グループ全体の税引前純利益の 16%を占める保険事業の展開を、世界各地で進めています。保険料収入は主にラテン・アメリカ、香港、欧州が牽引し、30%増加しました。

インドで営業を開始し、韓国でも合弁会社を立ち上げるなど、保険事業の対象地域は拡大しています。当グループの指定戦略プロバイダーは現在 23 ヶ国で営業しており、HSBC の強力な販売チャンネルを生かしつつ、これまでに 82 商品を発売してきました。

保険事業についても、ブラジルで「最優秀生命保険プロバイダー」に選ばれ、フランスで「Labels d'Excellence」賞に輝くなど、業界のさまざまな賞を受賞しています。

「Joining up the Company」戦略で顧客サービスを向上

「Joining up the Company」戦略は特に HSBC にとって新しい分野での収益の拡大、およびコスト上昇の抑制を目的とするものです。これまでにプレミア、グローバル・リンク、プライベートバンキングの各事業の成長について概略を説明してきました。成長は今後も続いていくものと思われます。しかしそれにとどまらず、先進市場でのコストベースの削減に関連する「One HSBC」を通し、技術とプロセスの共通性を利用することで達成できるシナジー効果の創出にも取り組んでいます。今上半期の業績から、グループ全体のコスト増加が鈍化しているのは明らかです。

「One HSBC」は HSBC を再構成し、最高の顧客サービスを提供しているグローバルシステムを可能な限り各地で使い、同時に生産コストも抑えるためのプログラムです。例えば、「One HSBC」プログラムでコールセンターは、顧客が最も頻繁に利用する取引に要するコール数を削減しています。「One HSBC Collections」は、全体的な顧客レベルの視点と個々のアカウントの視点との対比を通してサービスと連絡可能性を改善します。グループ全体のグローバルクレジットカード基盤の約 4 分の 3 は現在、「One HSBC カード」プラットフォームに存在し、2008 年はインドとインドネシアで取り換えを進めます。「One HSBC」プログラム下でサービス提案を標準化したことにより、サービスの中断は半分になりました。

現在では「One HSBC」システムを完全統合パッケージとして各国に配置することもできます。これによるメリットは特に新興市場の場合で大きく、専用ソフトウェア費を減らせるだけでなく営業上の利益も生まれます。今上半期は、「One HSBC」システムを 7 ヶ国（ポーランド、ブルネイ、オーストラリア、ロシア、チリ、インドネシア、スロバキア）に配置しました。下半期にもさらに 7 ヶ国に配置する予定です。標準化した「One HSBC」システムへの統合は、今後数年にわたり顧客と株主のための価値の創出に大きな役割を果たすでしょう。年末にも進捗状況をお知らせいたします。

財務力の維持に引き続き集中

不透明な時代ですが、当グループには明確な戦略があり、これを集中的および効果的に実施しています。今年 4 月、HSBC は『フォーブス』誌の「世界優良企業 2000 社番付」で第 1 位に輝きました。これは米国企業以外では初の快挙です。また、『ザ・バンカー』誌の「2008 年上位 1,000 行ランキング」でも、Tier 1 総資本によりナンバーワンとなりました。

既存か新規かを問わず、お客様は 85 の国と地域に及ぶ HSBC ブランドの下、希望する場所で当グループのサービスとサポートを受けられるものと認識しています。

HSBC の最大限の価値を株主の皆様には届けるには、すべての関係者に恩恵を及ぼす「Joining up the Company」戦略を継続しなければなりません。ゴールは遠いものの、この目標を見据えて進めば価値の創出は実現されていきます。

1 億を超えるお客様にサービスを提供し、20 万の株主の皆様の利益を守る 33 万 5,000 人の全社員に対し、ここに謝意を表します。

マイケル・ゲーガン、グループ最高経営責任者
2008 年 8 月 4 日

2008年 上半期			2008年 上半期	2007年 上半期	2007年 下半期
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		半期			
5,195	79,896	税引前純利益	10,247	14,159	10,053
3,915	60,209	親会社株主帰属利益	7,722	10,895	8,238
3,459	53,199	配当金	6,823	6,192	4,049
		期末			
63,647	988,923	総株主持分	126,785	119,780	128,160
73,769	1,146,210	自己資本総額***	146,950	137,042	152,640
		顧客勘定および銀行預			
660,669	10,265,385	り金	1,316,075	1,109,605	1,228,321
1,278,432	19,864,088	総資産	2,546,678	2,150,441	2,354,266
618,203	9,605,552	リスク加重資産	1,231,481	1,041,540	1,123,782

ポンド	香港ドル		米ドル	米ドル	米ドル
		普通株式 1株当たり			
0.33	5.07	利益（基本ベース）	0.65	0.95	0.70
0.33	5.07	利益（希薄化後ベース）	0.65	0.94	0.69
0.29	4.44	配当金*	0.57	0.53	0.34
5.16	80.11	純資産	10.27	10.10	10.72

株式情報

0.50 米ドル：発行済普通株式	12,005	11,713	11,829
	百万株	百万株	百万株
時価総額	1,850	2,150	1,980
	億米ドル	億米ドル	億米ドル
株価（終値）	7.76 ポンド	9.15 ポンド	8.42 ポンド
	1年	3年	5年
2008年6月30日までの総株主リターン**	90.1	102.3	141.0
ベンチマーク：FTSE100	88.4	122.2	166.0
MSCI ワールド	89.8	131.1	180.6

* IFRS の会計規則によれば、財務諸表に表示される 1 株当たり配当金 0.57 米ドルは 2008 年上半期に表明された配当金の総額である。これは 2007 年第 4 中間期と 2008 年の第 1 中間期の配当金の総額を示す。

** 総株主リターン（TSR）は「2007 年度年次報告書および財務諸表」で定義されている。

*** 2008 年 6 月 30 日現在の自己資本総額、資本比率、リスク加重資産の計算は、バーゼル II の枠組みに基づいて行われている。これらはバーゼル I の枠組みに基づいて計算される場合もある。

	2008年 上半期	2007年 上半期	2007年 下半期
	%	%	%
財務比率			
平均投下資本利益率 ¹	11.9	18.4	12.4
平均総株主持分利益率	12.1	19.1	13.0
税引後平均総資産利益率	0.68	1.19	0.78
税引後平均リスク加重資産利益率	1.39	2.30	1.63
効率比率および収益構成比率			
コスト効率比率	51.0	48.3	50.4
総営業収益に対する：			
- 純利息収益比率	49.4	43.3	43.0
- 純手数料収益比率	25.6	24.9	25.3
- 純トレーディング収益比率	8.9	13.1	9.5
自己資本比率			
- Tier1 資本	8.8	9.3	9.3
- 自己資本合計	11.9	13.2	13.6

¹ 投下資本利益率は普通株主帰属利益に基づいている。平均投下資本は、平均総株主持分+引当金に直接戻し入れた償却済み営業権－HSBC ホールディングスの平均発行済み優先株－/ (+) 実効的なキャッシュフロー・ヘッジと売却可能有価証券に係る平均未実現利益/ (損失) 準備金として計測される。この計測は当初の投下資本とその後の利益を反映したものである。

2008年 上半期			2008年 上半期	2007年 上半期	2007年 下半期
百万ポンド	百万香港 ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
23,912	367,738	受取利息	47,164	43,567	48,792
(13,175)	(202,613)	支払利息	(25,986)	(25,337)	(29,227)
10,737	165,125	純利息収益	21,178	18,230	19,565
6,784	104,332	受取手数料	13,381	12,488	13,849
(1,212)	(18,635)	支払手数料	(2,390)	(1,993)	(2,342)
5,572	85,697	純手数料収益	10,991	10,495	11,507
		純利息収益を除く			
324	4,982	トレーディング収益	639	3,351	1,107
1,620	24,911	トレーディング業務に係る純 利息収益	3,195	2,160	3,216
1,944	29,893	純トレーディング収益	3,834	5,511	4,323
(296)	(4,553)	公正価額で表示されている金 融商品からの純収益／(費用)	(584)	874	3,209
414	6,370	金融投資からの利益 (損失控除後)	817	999	957
-	-	関連会社持分の希薄化 からの利益	-	1,076	16
45	686	受取配当金	88	252	72
2,613	40,178	純既経過保険料	5,153	3,977	5,099
727	11,189	その他の営業収益	1,435	678	761
21,756	334,585	純営業収益	42,912	42,092	45,509
(1,743)	(26,798)	純既発生保険金および保険契 約者債務の変動	(3,437)	(3,599)	(5,009)
20,013	307,787	貸倒引当金およびその他の信 用リスク引当金繰入額控除前 純営業収益	39,475	38,493	40,500
(5,099)	(78,422)	貸倒引当金およびその他の信 用リスク引当金繰入額	(10,058)	(6,346)	(10,896)
14,914	229,365	純営業収益	29,417	32,147	29,604
(5,539)	(85,182)	人件費	(10,925)	(10,430)	(10,904)
(3,792)	(58,314)	一般管理費	(7,479)	(7,022)	(8,272)
(438)	(6,729)	有形固定資産減価償却費およ び減損損失	(863)	(817)	(897)
(175)	(2,698)	無形固定資産減価償却費およ び減損損失	(346)	(342)	(358)
(267)	(4,109)	営業権減損	(527)	-	-
(10,211)	(157,032)	営業費用合計	(20,140)	(18,611)	(20,431)
4,703	72,333	営業利益	9,277	13,536	9,173
492	7,563	関連会社および合弁会社から の利益分配金	970	623	880
5,195	79,896	税引前純利益	10,247	14,159	10,053
(984)	(15,134)	税金費用	(1,941)	(2,645)	(1,112)
4,211	64,762	当期利益	8,306	11,514	8,941
3,915	60,209	親会社株主帰属利益	7,722	10,895	8,238
296	4,553	少数持分帰属利益	584	619	703

2008年 上半期末			2008年 上半期末	2007年 上半期末	2007年 下半期末
百万ポンド	百万香港 ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
資産					
6,763	105,089	現金および中央銀行預け金	13,473	16,651	21,765
8,393	130,408	受取為替	16,719	23,152	9,777
7,218	112,144	香港政庁債務証券	14,378	12,947	13,893
237,716	3,693,589	トレーディング資産	473,537	424,645	445,968
		公正価額で表示されている			
20,475	318,131	金融資産	40,786	34,849	41,564
130,853	2,033,180	デリバティブ資産	260,664	149,181	187,854
129,004	2,004,454	銀行貸付金	256,981	214,645	237,366
526,698	8,183,762	顧客貸付金	1,049,200	928,101	981,548
137,925	2,143,050	金融投資	274,750	233,001	283,000
5,652	87,820	関連会社および合弁会社持分	11,259	8,583	10,384
20,489	318,349	営業権および無形固定資産	40,814	38,445	39,689
7,888	122,561	有形固定資産	15,713	14,982	15,694
26,440	410,826	その他の資産	52,670	30,164	39,493
724	11,255	当期税金資産	1,443	675	896
3,258	50,622	繰延税金資産	6,490	3,327	5,284
8,936	138,848	前払金および未収収益	17,801	17,093	20,091
<u>1,278,432</u>	<u>19,864,088</u>	資産合計	<u>2,546,678</u>	<u>2,150,441</u>	<u>2,354,266</u>

2008年 上半期末		負債および自己資本 負債	2008年 上半期末	2007年 上半期末	2007年 下半期末
百万ポンド	百万香港ドル		百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
		香港流通紙幣	14,378	12,947	13,893
		銀行預り金	154,152	128,773	132,181
		顧客勘定	1,161,923	980,832	1,096,140
		支払為替	15,329	30,339	8,672
		トレーディング負債	340,611	313,193	314,580
		公正価額で表示されている			
		金融負債	89,758	75,966	89,939
		デリバティブ負債	251,357	144,284	183,393
		社債	230,267	229,239	246,579
		退職給付債務	3,619	2,984	2,893
		その他の負債	48,435	31,937	35,013
		当期税金負債	3,082	2,563	2,559
		保険契約債務	46,851	36,929	42,606
		未払費用および繰延			
		収益	17,592	16,857	21,766
		引当金	1,872	1,603	1,958
		繰延税金負債	1,924	2,000	1,859
		劣後負債	31,517	23,504	24,819
		負債合計	2,412,667	2,023,950	2,218,850
		自己資本			
		資本金	6,003	5,857	5,915
		株式発行差金勘定	8,097	7,834	8,134
		その他の持分商品	2,134	-	-
		その他の準備金	27,561	31,838	33,014
		留保利益	82,990	74,251	81,097
		総株主持分	126,785	119,780	128,160
		少数株主持分	7,226	6,711	7,256
		自己資本合計	134,011	126,491	135,416
		自己資本および負債			
		合計	2,546,678	2,150,441	2,354,266

	2008年 上半期 百万米ドル	2007年 上半期 百万米ドル	2007年 下半期 百万米ドル
売却可能投資:			
－資本直入された評価益／(評価損)	(8,457)	1,162	(406)
－売却により損益計算書に振り替えられた評価益	(920)	(763)	(1,011)
－減損による損益計算書への振替額	384	(20)	54
キャッシュフロー・ヘッジ			
－資本直入された評価益	914	395	230
－損益計算書に振り替えられた評価益	(1,134)	(568)	(1,318)
関連会社および合弁会社の持分変動	(342)	186	186
外貨換算差額	3,170	2,293	3,653
給付建年金制度にかかる保険数理差益／(差損)	(910)	2,028	139
資本直入された項目にかかる税効果額	(7,313)	4,713	1,527
当期総資本直入収益費用	936	(455)	229
当期利益	(6,377)	4,258	1,756
当期総認識収益費用	8,306	11,514	8,941
以下に帰属する当期総認識収益費用	1,929	15,772	10,697
－親会社株主	1,523	14,950	9,851
－少数株主持分	406	822	846
	1,929	15,772	10,697

	2008年 上半期末	2007年 上半期末	2007年 下半期末
	百万米ドル	百万米ドル	百万米ドル
営業活動によるキャッシュフロー			
税引前純利益	10,247	14,159	10,053
<i>調整項目：</i>			
純利益に含まれるキャッシュ以外の項目	12,900	7,358	14,343
営業資産の変動	(101,131)	(65,685)	(110,853)
営業負債の変動	69,395	123,248	126,847
外貨換算差額消去	(11,632)	(5,871)	(12,731)
投資活動からの純利益	(1,555)	(1,149)	(1,060)
関連会社および合弁会社にかかる投資損益	(970)	(623)	(880)
関連会社から受領した配当金	405	146	217
給付建年金制度に対する拠出金	(416)	(970)	(423)
税金支払額	(2,152)	(2,217)	(2,871)
営業活動による純キャッシュフロー	(24,909)	68,396	22,642
投資活動によるキャッシュフロー			
金融投資購入	(123,464)	(126,316)	(134,664)
金融投資の売却および満期償還による手取金	126,384	115,063	123,584
有形固定資産購入	(1,112)	(965)	(1,755)
有形固定資産売却手取金	2,156	1,368	1,810
ローン・ポートフォリオ売却手取金	-	-	1,665
無形固定資産純購入（純額）	(553)	(451)	(499)
子会社株式の取得および持分増加による純キャッシュ流入／ （流出）	1,608	(323)	(300)
子会社売却による純キャッシュ流入	440	-	187
関連会社株式の取得および増加による純キャッシュ流出	(122)	(9)	(342)
ファンドの連結による純キャッシュ流入	-	-	1,600
関連会社売却手取金	(8)	-	69
投資活動で創出／（使用）された純キャッシュ	5,329	(11,633)	(8,645)
財務活動によるキャッシュフロー			
普通株式の発行	52	116	358
優先株式の発行	2,134	-	-
値付け目的および投資目的による自社株式の純購入および売却	(202)	220	(94)
株式報奨およびストックオプション報奨のための自社株式の			

購入	(783)	(807)	171
ストックオプションの行使	14	58	46
劣後ローン資本の発行	5,582	563	5,142
劣後ローン資本の返済	6	(87)	(602)
親会社株主への配当金	(3,825)	(3,591)	(2,412)
少数株主持分への配当金	(394)	(460)	(258)
財務活動で創出／（使用）された純キャッシュ	2,584	(3,988)	2,351
現金および現金同等物の純増加	(16,996)	52,775	16,348
期首現金および現金同等物	297,009	215,486	272,284
現金および現金同等物に関する換算差額	7,525	4,023	8,377
期末現金および現金同等物	287,538	272,284	297,009